

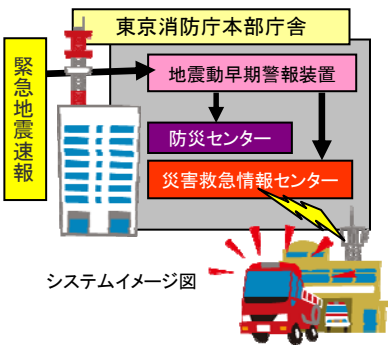


明星電気展示ブース

第11回「震災対策技術展/自然災害対策技術展」横浜 横浜パシフィコにて開催される

2007年2月1日から2日の二日間、第11回「震災対策技術展/自然災害対策技術展」横浜が横浜パシフィコにて開催されました。震災対策をはじめ防災関連の最新技術・製品・情報等が幅広く紹介・提供され、同時に、セミナーやシンポジウムも開催されました。

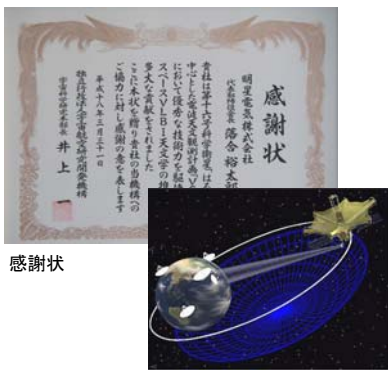
年を追うごとに地震防災への意識が高まり、明星電気ブースを訪れる方々の地震防災やBCPへの意識の高まりが感じられました。今回当社はナウキャスト地震情報対応計測震度計、緊急地震速報対応QCAST®受信装置警報ユニットを展示し、ご期待に応えるべく社長の陣頭指揮の下、全社をあげてご紹介に努めました。



東京消防庁で緊急地震速報が活用されています！

2月2日、震災対策技術展横浜会場で行われた、「第6回国土セイフティネットシンポジウムー緊急地震速報の一般利用開始を迎えてー」において、この3月、東京消防庁より緊急地震速報を各消防署などへ伝達する新しいシステムが稼働開始すると発表がありました。

システムの概要は、明星のQCAST®受信装置と消防無線の自動音声システムを接続し、予測震度3以上の場合、災害救急センターから警報を出すシステムです。各消防署などへ緊急地震速報を伝達させることで、在庁者の安全、出火防止や車庫シャッターの開放を行い、震災時初動体制を妨げる障害について最小限に食い止めることが期待されます。



スペースVLBI天文学の推進に貢献！ 感謝状を頂戴いたしました

2月2日、当社はJAXA様より電波天文観測衛星「はるか」において、「優秀な技術力を駆使してスペースVLBI天文学の推進に貢献した」とのことで感謝状を頂きました。「はるか」は、14カ国25台の電波望遠鏡と連携し地球のサイズを超える壮大な電波望遠鏡ネットワークを作り上げ、超巨大ブラックホールから噴き出す、相対論的ジェットの観測等を行い、活動銀河中心核やブラックホールの解明に大きく貢献しています。

人工衛星「はるか」には地磁気姿勢計(地球の磁場を測定し人工衛星の姿勢を決定する装置)が搭載され、明星電気はその運用に貢献致しました。



非常用管制塔システム(EVA-05) 羽田空港にて実展開！！

昨年度、航空局様へ納入した非常用管制塔システム(EVA-05)が羽田空港にて実際に展開されました。非常用管制塔システムは常設の航空管制システムが不測の事態に陥ったとき、その代替手段として使用するためのシステムです。今回の展開は現管制塔機材の更新に伴うバックアップと展開訓練を兼ねたもので、C滑走路エンドに展開。機材の展開に関しては、悪天候の中行われ、格納庫からの搬出後、機材牽引を経て展開場所への移動を完了し機材展開を実施いたしました。

移動後の機材確認では特に異常も見受けられず、このことは機材の信頼性、耐久性が実証されたことを意味し、明星電気の技術力の高さを象徴することでもありました。今後は成田空港と羽田空港で交互に展開され、航空機の安全な飛行に大きく貢献するものとなります。



FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに
人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。